

研究機関：広島大学

研究課題名 当科における外的損傷による喉頭外傷の臨床的検討

研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学
教授 竹野 幸夫

対象者

2000年4月から2020年3月の間に、広島大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科で外損傷性喉頭外傷による治療を受けられた患者さん。

意義・目的

外的損傷による喉頭外傷は稀であり、病態の判断や治療方針の決定に悩むことが多く、術者の経験度合いなどに経過が左右されやすい。そこで今回、過去20年間に当院で治療した外損傷性喉頭外傷症例16例を検討し、今後の臨床に役立てたいと考えます